

びわこの東から

発行：湖東土木事務所
〒522-0071滋賀県彦根市元町4-1
TEL 0749-27-2254(管理調整課)
FAX 0749-23-3531
Email ha34150@pref.shiga.lg.jp

今年度、組織目標による「見える化事業」の一環で情報誌を発行しています。土木の歴史などを交えて皆様に熱く伝えますのでどうぞご覧下さい。

12月号 **その時歴史は動く！への招待** ➡ 彦根城、安土城の石積み技法の技を極めた石工衆を紹介します！

名神高速道路 (仮称) 湖東三山スマートインターチェンジの設置

名神高速道路の彦根IC～八日市IC間に(仮称)湖東三山スマートインターチェンジを整備します。

位置図



湖東地域内陸部の道路事情

ICへのアクセスが不便。
異常気象や事故による通行規制の代替路が不足。
観光シーズンに観光地周辺の一般道路が混雑。

(仮称) 湖東三山スマートインターチェンジ設置による効果

ICへのアクセス性の向上により、**交通の利便性が拡大**します。
災害時の代替道路を確保できます。
観光施設へのアクセス性の向上により、**観光振興を支援**します。
内陸工業地としての産業活動が円滑化し、**地域産業の活性化**が期待できます。
高度な救急医療施設へのアクセス時間が短縮し、**救急医療活動が強化**されます。

国土交通大臣より平成21年6月30日付け高速道路への県道連結許可をいただいています。(工期H21～H25年度)



起工式が平成21年12月25日午前10:00からIC期成同盟会主催により行われます。

早期の供用に向けて努力していますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします！

[道路計画課 改良計画担当]

宇曾川河道内の伐木・除草

河川事業の紹介



着手前



完了後



宇曾川において河道内に繁茂する雑木を伐採しました。実施区間は、金剛寺橋から昭和大橋付近までの約1.5kmです。これによって、水の流れの抵抗が少なくなり、河口までスムーズに流れることができます。少しでも、流下能力を高めて住民の安全な生活を確保します。

[河川砂防課 河川担当]

10月2日(木)歩道点検(自転車)パトロールの実施

県道 新海上稲葉線



歩道空間が急に狭くなるところは、路外への転落防止のため、防護柵などの設置を行います。

県道 多賀高宮線



このような「穴ポコ」はもっとも危険な状況ですので緊急補修を行っています。

穴ポコ

快適な歩道空間を確保するため、日常の道路パトロールと併せて自転車による歩道点検を行っています。……県道・歩道区間を職員15名にて100km点検走破しました……

[管理・道路維持補修担当]

目的 いずれの訓練も防災情報システムへの打ち込みなど「情報伝達訓練」

成果 11月25日の時間内訓練では湖東土木職員43名中29名がシステムへの打ち込み作業を行い約7割の職員がシステムへの打ち込みを習得し、危機管理体制を強化することが出来ました。

訓練 10月25日(日)・11月25日(水)

時間外訓練の様子

防災情報システム打ち込み作業



国道306号三重県境付近で土砂崩れが発生したとの想定で訓練を行いました



現場からの被災情報の収集や情報分析をしているところです



まとめられた被災情報内容をパソコンへ打ち込みし、県民の皆様へ情報を提供します

[計画調整担当]

砂防事業のハード整備からソフト対策へ

『自助・共助・公助』土砂災害に備え自治会毎に警戒避難体制づくりへの協力をお願いしています。

★湖東土木ではソフト対策として土砂災害による被害の軽減のため、土砂災害警戒区域の指定と同時に警戒避難体制の整備をしていただくため、日夜地元説明を行っています。

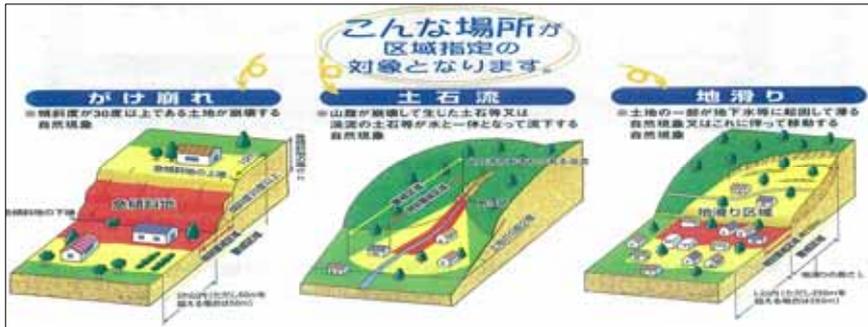
目標 湖東土木管内全指定数426箇所内、今年度末約8割350箇所以上の指定を目指しています。



2009年11月20日(金)19:00～彦根市野田山町自治会館

土木職員が土砂災害の映像を交えて土砂災害防止法の説明をしているところです。年度末に区域指定を行います。

[砂防・計画調整担当]



特集・その時歴史は動く！

彦根城の石垣は尾州衆や越前衆、安土城は穴太衆が技を極めました！

天守台

(西側)

天秤櫓

(東側)

安土城趾天守付近



算木積み

牛蒡積み



落し積み



牛蒡積み



野面積み

慶長12年(1607年)頃の完成時

嘉永7年(1854年)幕末大修理

元和8年(1622年)頃完成

天正4年(1576年)頃完成

石垣の角は切石の長い面と短い面を交互に積む算木積み工法がとられ、中央部は牛蒡積みで石材間に隙間が多く、間詰め石を打ち込む工法で打ち込みハギ乱積みと言えます。

石材を切石し、石の広い面を表に出して積む「落し積み」と云われる技法は、作業性は高いが強度的に強い工法ではない。東側牛蒡積みと比べ石の隙間が少なく積み形が明らかに違うことが解ります。

石垣表面を平滑にし、石材の長い方を奥に差し入れて積む工法が牛蒡積みであり、強度が期待でき地震に強い工法と云える。天守石垣より石材間の隙間が少ない天秤櫓東側です。

安土城趾の石積み工法は様々であり、特定の「穴太積み」を用いた技法を想定するのは難しいが穴太衆の指揮下の元、城が築かれている。石の形が揃い加工せずに積み上げていること。天守部手前は原始的な石垣ですが高度な技術が必要で、今日では野面を積める石工はほとんどいないと云われています。

彦根城天守台の石垣は俗に牛蒡積みと称され、自然石の長い方を奥へ差し入れて地震などにも耐えうる石垣としています。これまでは自然石を雑に積み上げていることから野面石積み工法の一つといわれていましたが、よく観察してみると、実はいたるところで矢穴と呼ばれる歯型のような楔痕のある石材が数多く用いられていることがわかります。これは自然石ではなく、巨石に連続して楔によって穴を穿ち、鑿によって割られた石材です。石材間に隙間が多く、間詰め石を打ち込む工法は野面積みではなく、打ち込みハギ乱積みと言えます。慶長年間の特徴的な石垣工法です。彦根市教育委員会 文化財課提供

編集後記

土木の維持管理において、時間のゆっくり流れていた時代と現代の様に時間の早さを感じる時400年前の土木技術「技」の重さを実感します。事務局長

所長コメント

今回の記事は高速道路の既存施設の有効利用や、維持管理、ソフト対策など時代の潮流となっている事務の紹介です。加えて、土木職員のマンパワーの紹介でもあります。記事の出来をご覧ください。